



令和 7 年 4 月 30 日
タレンツ・トーキョー実行委員会

世界で活躍するアジアの映画人を多数輩出

映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2025」開催のお知らせ及び参加者募集

タレンツ・トーキョー実行委員会は、映像分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents、タレンツ）」を育成することを目的とした「タレンツ・トーキョー2025」を、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京との共催で開催します。

本事業は「ベルリン国際映画祭」の一環として開催されている「ベルリナーレ・タレンツ」の、海外展開における唯一のアジア版として 2010 年から東京で始まりました。世界を舞台に活躍するアジアの映画人を多数輩出し、人材育成事業としての成果が世界各地で注目されています。

今年で 16 回目を迎える本事業は、アジアの若手映画作家やプロデューサーを東京に招き、「ベルリン国際映画祭」関係者等の第一線で活躍するプロフェッショナルからの講義や、映画関係者に向けてのプレゼンテーションなど、約 1 週間にわたるワークショップを通して、映画人として世界で活躍するためのノウハウとネットワーク構築の機会を提供します。

このたび、今年度の開催概要及び参加者募集に関する詳細が決まりましたので、お知らせします。日本を含むアジアからの若手映画人からの応募をお待ちしています。

<開催概要>

- 名 称 : タレンツ・トーキョー2025 (Talents Tokyo 2025)
実施期間 : 令和 7 (2025) 年 11 月 24 日 (月・振休) ~ 11 月 30 日 (日)
会 場 : 有楽町朝日スクエア ほか ※予定
プログラム: - 映画監督、プロデューサー等のプロフェッショナルによる講義
- 企画合評会 (映画化企画のプレゼンテーションと審査・表彰)
- 参考作品の鑑賞
- 参加者同士や講師陣との交流
主 催 : 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、
タレンツ・トーキョー実行委員会
提 携 : ベルリン国際映画祭 (ベルリナーレ・タレンツ)
協 力 : ゲーテ・インスティトゥート

【応募について】

- 対 象 者 : 東アジア、東南アジア地域の映画監督・プロデューサーを目指す方
募集人数 : 国内外あわせて 17 名
募集期間 : 2025 年 5 月 1 日 (木) 正午から 5 月 31 日 (土) 23:59 まで
選考期間 : 2025 年 6 月から 8 月まで

5 月 1 日 (木) 募集開始します。公式ウェブサイト <https://talents-tokyo.jp> をご覧ください。

<本事業、掲載に関するお問い合わせ>

タレンツ・トーキョー実行委員会 担当: 松本
メール: talents@talents-tokyo.jp

【参考】タレンツ・トーキョー修了生の主な実績（カッコ内は参加年）

- ・アンソニー・チェン（2010 年）監督
『イロイロ めくもりの記憶』カンヌ国際映画祭カメラ・ドール（最優秀新人監督賞）他多数受賞
- ・石川慶（2011 年）監督
『愚行録』ベネチア国際映画祭オリゾンティ部門選出、『蜜蜂と遠雷』毎日映画コンクール作品賞他多数受賞、『ある男』日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞、『遠い山なみの光』カンヌ国際映画祭ある視点部門選出 他多数受賞
- ・ピアンカ・バルブエナ（2012 年）プロデューサー
『痛ましき謎への子守唄』（ラヴ・ディアス監督）ベルリン国際映画祭銀熊賞（アルフレッド・バウアー賞）受賞
- ・ヨー・シュウホァ（2015 年）監督
『幻土』ロカルノ国際映画祭金豹賞（最優秀作品賞）受賞、東京フィルメックス・コンペティション 部門選出、米アカデミー賞シンガポール代表
- ・早川千絵（2014 年）監督、水野詠子（2019 年）プロデューサー、アレンバーグ・アン（2014 年）コ・プロデューサー、ユリア・エヴィナ・バラ（2020 年）コ・プロデューサー
『PLAN 75』カンヌ国際映画祭カメラ・ドール スペシャルメンション（特別賞）受賞
『ルノワール』カンヌ国際映画祭コンペティション部門選出
- ・ファム・ゴック・ラン（2017 年）監督
『Cu Li Never Cries』ベルリン国際映画祭最優秀初長編作品賞受賞
- ・ラッチャブーン・ブンブンチャチョーク（2021 年）監督
『A Useful Ghost』カンヌ国際映画祭 批評家週間選出



「タレンツ・トーキョー 2024」実施風景